

平成24年神石高原町

消防団出初式



1月22日（日）油木体育館で、平成24年神石高原町消防団出初式が挙行されました。各方面隊から消防団員が集結し、広島県消防協会会長をはじめ、多数の来賓のご臨席のもと盛大に開催されました。式では、豊松方面隊の妹尾尚樹団員が、辞令交付を受けた新入団員18名を代表し「忠実に消防の義務を遂行します」と宣誓を行いました。また、広島県知事、広島県消防協会会長などの表彰も行われました。橋本団長から「団員確保や教育体制の充実など、組織強化に積極的に取り組み、町民の身体・生命・財産を守るべく、神石高原町消防団員が自覚と責任を持って一致団結し、災害のない明るい町をめざそう」と訓示があり、団員達は決意を新たにしました。



新入団者辞令交付

春の火災予防運動

火災が発生しやすい季節になりました。火の取り扱いには十分注意して火災を予防しましょう。

実施期間 3月1日（木）～3月7日（水）
 全国統一防火標語
 消したはず 決めつけしないで もう一度

【4つの対策】

- ◎逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
- ◎寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
- ◎火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ◎高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント
 - 3つの習慣・4つの対策 -

【3つの習慣】

- ◎寝たばこは、絶対にしない。
- ◎ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ◎ガスこもらなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

※住宅用火災警報器・消火器の悪質訪問販売等に注意しましょう。

町立病院からののお知らせ

「風邪、インフルエンザ 何を飲んだらいいの？」

町立病院健康学習会「まめくらぶ」



1月25日（水）の「まめくらぶ」では、矢鍋薬剤科長から風邪とインフルエンザの違いやその時どんな薬を飲んだらよいかについてお話がありました。

風邪のウイルスには直接効く薬はなく、咳・鼻水・熱などの症状を和らげる薬で対症療法を行い、その間に体がウイルスと戦うことで治癒していきます。インフルエンザの治療には、主にインフルエンザウイルスの増殖を抑える薬が使われます。インフルエンザウイルスは、増殖するスピードが非常に速いので、できるだけ早期に服用することで効果を発揮します。

空気が乾燥して、風邪やインフルエンザにかかる人が多くなっていますが、どちらも安静・保温・栄養が治療の基本です。体調の異変を感じたら、早めの受診をし、症状にあった薬を服用しましょう。

手洗い・うがい・マスクの着用などの予防も忘れずに！



第36回「小さな親切」作文コンクール 全国入選



社団法人「小さな親切」運動本部が主催する第36回「小さな親切」作文コンクールで、来見小学校6年生の馬屋原陵汰君の「心のぬくもり」が全国大会で入選しました。馬屋原君の作文は、病院でお母さんが耳の不自由な高齢者の方に看護師さんの話を伝える姿を見て、自身も杖を落とされた方に杖を拾ってあげるといった内容でした。馬屋原君は「日頃から小さな親切をしたい気持ちがあったけど、なかなか行動に移せなかった。でも病院での母の行動を見て、自然に体が動き親切ができた。これからも、高齢者や小さな子に対し親切にしたい」と話してくれました。

西油木に伝わる文化を残す1冊が完成



油木地区の老人会「西油木百薬会」（小里誠会長）が、西油木に伝わる伝説や風習、また農作業等、郡史や町史、農業史には記されていない文化をまとめた「西油木今昔物語」を昨年12月に発行され、西油木・城山自治振興会の各世帯と関係団体へ配布されました。



通学児童の見守り活動に感謝状



逸見博志さん（いちげ）に福山北警察署管内防犯組合連合会長、福山北交通安全協会会長、神石高原町長から感謝状が贈られました。逸見さんは平成16年から毎朝、油木小学校の正門前通学路に立ち、通学児童の見守り活動をされています。犯罪や交通事故から地域の子

どもを守るために自主的に取り組まれており、早朝の声かけは子どもへの健全育成にも大きく貢献されていることに対して、感謝状の贈呈となりました。



子どもの華麗な舞で観客を魅了

1月8日、くるみふれあいプラザで新春子供神楽共演会が開催されました。子供神楽団が3団体集い、地元からは神代子供神楽と油木八幡神社子供会神楽部が出演され、大人顔負けの迫力ある舞を披露されました。今年で9回目となるこの共演会は、新春の恒例行事として町内外から大勢の観客で賑わい、「毎年、楽しみにしている。子ども達の舞に元気をもたらそう」と来場者は話され、年1回の共演会を楽しまれました。

